

事務事業チェックシート

(1)

事務事業名称		長岡京ガラシャ祭(市民まつり)実行委員会				担当所属名		総務課						
事務事業コード		0601030006				①事業期間		始期	平成4	～	終期	継続		
事業区分		実施計画				総合計画		基本目標	6	政策	1	施策	3	
②事業の性質分類 【該当に○】		○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)				④施設等の維持管理的な事務事業								
		②整備関係事務事業				⑤行政の内部管理事務事業								
		③施設等の建設事務事業				⑥経常的な事務事業								
事業の実施根拠 (法令・条例・関連計画等)		-												
③必須業務の有無 【選択】		無	内容 -											
④事業開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		勝竜寺城公園の整備と市制施行20周年を契機に、細川ガラシャをテーマにした長岡京の歴史を生かした市民まつりを地域振興を目的に実施。当初は市直営で職員総動員で実施し、その後、行政主導から民間主導への移行を打ち出したものの形骸化しています。												
⑤事業開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		祭開始当初から参画していた団体の構成員も高齢化しつつあり、当初と同様の役割分担での参画が困難となりつつあります。また、大河ドラマの誘致に向けた機運が高まりつつある中で、「長岡京ガラシャ祭」の存在感が重要視されています。												
事業の目的		市民相互の連携・ふれあいを促進するため、長岡京ガラシャ祭を支援します。												
事業の内容		市民で組織する長岡京ガラシャ祭実行委員会に対して助成を行います。												
⑥成果	指標名	祭りへの参加者数												
	指標の推移	単位	23年度実績			24年度実績			25年度見込					
		人	66,000			14,800			60,000					
⑦対象の状況	対象名	祭りへの参加者												
	対象の推移	単位	23年度実績			24年度実績			25年度見込					
			人	79,873			79,806			79,997				
将来の動向		わずかではあるが増加傾向が見られます。												
⑧【収入】			(円)		23年度決算			24年度決算			25年度予算			
	使用料・手数料				0			0			0			
	国支出金(補助率 /)				0			0			0			
	府支出金(補助率 /)				0			0			0			
	その他 ()				0			0			0			
合計				0			0			0				
⑨【支出】			(円)		23年度決算			24年度決算			25年度予算			
	人件費	正規職員	従事人数(人)				1.2			1.2			1.2	
		人件費				9,600,000			9,600,000			9,600,000		
	再任用・嘱託職員	従事人数(人)				0.0			0.0			0.0		
		人件費				0			0			0		
	科目 (会計・款・項・目・細目)		01	02	01	08	735	23年度決算			24年度決算			25年度予算
事業費(予算・決算)						15,000,000			15,000,000			15,000,000		
合計						24,600,000			24,600,000			24,600,000		
【収支】				(円)		23年度決算			24年度決算			25年度予算		
一般財源充当額						24,600,000			24,600,000			24,600,000		
対象者あたり一般財源充当額						308			308			308		
⑩主な事業費の詳細 (H25見込)		長岡京ガラシャ祭(市民まつり)補助金 15,000,000円 (興入れ行列、歴史文化行列、楽市楽座、ガラシャウィーク企画運営費及び宣伝啓発費に充当)												

事務事業名称(再掲)		長岡京ガラシャ祭(市民まつり)実行委員会		担当所属名(再掲)	総務課
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄	
⑪ 必要性	市民ニーズや社会情勢に照らして、事業目的が事業開始時点と比べて希薄化していない			はい	-
	市において目的や内容が類似した事業がない			はい	-
	市が事業を実施する必要がある			はい	-
	市が中心となり事業を実施しなくては目的が達成できない(企業や市民、市民団体など行政以外が主体では目的が達成できない)			はい	-
	市が事業を実施しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			はい	市民が主役として参加できる、市民まつりとしての長岡京ガラシャ祭の開催・運営が困難となります。
⑫ 優先性	事業の目的・内容・実施時期のいずれかに緊急性が認められる			いいえ	-
	第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させる事業である			はい	文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力の向上」
	自治体間でのサービスの内容に差がつけられたり、地域の魅力が増す事業である			はい	歴史に根差した地域ブランド力の向上
	施策として遅れており、市の弱点を補完する事業である			いいえ	-
⑬ 公正公平性	わかりやすい情報発信を行っている			はい	実行委員会のホームページや広報長岡京、各種媒体で告知
	適切な受益者負担を求めている			いいえ	-
	多くの住民、広い地域に還元する事業である			はい	-
⑭ 効率性	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の目的を見直している			いいえ	-
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の対象を見直している			いいえ	-
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の手法を見直している			はい	毎年実行委員会において事業・運営内容の見直しを行っています。
	具体的に説明できる費用対効果がある			いいえ	-
⑮ 現状の事業手法【選択】	その他	委託先、または、その他の内容	長岡京ガラシャ祭実行委員会		
⑯ 近隣市町の状況【選択】	本市のみ実施	他市町の事例	-		
⑰ 24年度の取り組み(昨年度)	11/3～11/11をガラシャウィークとして設定し、バンビオ1番館、神足ふれあい町家、中央公民館等の会場でサポセンフェスティバル・市民文化団体によるコンサートやライブ、展覧会などを多数開催するとともに、細川家ならびに古今伝授の間のゆかりから、NHK大河ドラマ誘致推進協議会の支援を受けて細川護熙氏の講演会を開催し、ウィーク全体で約9,800人の集客がありました。最終日は行列巡行及び婚礼の儀・楽市楽座を屋外の各会場において実施の予定でしたが、行列については雨天のため市内巡行を中止し、長中体育館において行列紹介及び婚礼の儀を行いました。楽市楽座も雨のため客足は鈍かったものの、大河ドラマ誘致推進協議会の関係市町ご当地キャラのステージ等で賑わい、最終日の集客は約5,000人となりました。				
⑱ 25年度の取り組み(今年度)	実行委員会において各委員の役割や緊急時の連絡体制について整理する中で、参加する市民や団体が主体的に祭りにかかわれる仕組みを構築します。				
⑲ 26年度の取り組み(来年度)	ガラシャウィークの位置づけで様々な事業を展開し始めてから6年が経ち、それぞれの事業運営のスタイルも出来上がってきたため、各運営団体が主体的に取り組めるよう見直しを図るとともに、最終日の行列巡行その他の催事へ各団体がより深く参画できるよう協議を進めます。				
⑳ 今後の方向性【選択】	現状維持	今後の取り組み	ガラシャウィークの各イベントや行列等への市民参加機会の拡大を図り、より市民に親しまれる事業としていきます。		
21) 民間委託化の可能性【選択】	無	委託候補先、または委託できない理由	現状において実行委員会方式で実施しています。		
22) 市民や団体などとの協働の可能性【選択】	有	パートナー、または協働できない理由	市民・市内各種団体		
可能性が有の場合	協働のメリットはありますか【選択】	はい	市民・団体の自律性・参加意識の向上		
	協働のデメリットはありますか【選択】	はい	多くの団体により運営されているため、調整に多大な労力を要します。		
	想定される協働の方法はありますか【選択】	はい	現状において実行委員会方式で実施しています。		
	パートナーに求める役割は何ですか		自律的な運営参画		
23) その他特記事項(留意事項など)	各種団体が実行委員として参画するなかで運営しているが、担当者は毎年交代することなどから、企画内容の検討は民間移行は可能であるが、運営については一定の関与が必要となります。				

事務事業チェックシート

(1)

事務事業名称		地域集会所建設等補助				担当所属名		総務課					
事務事業コード		0601030009				①事業期間		始期	不明	～	終期	継続	
事業区分		実施計画				総合計画		基本目標	6	政策	1	施策	3
②事業の性質分類 【該当に○】		①ソフト関係事務事業(市民サービス)				④施設等の維持管理的な事務事業							
		②整備関係事務事業				⑤行政の内部管理事務事業							
		○ ③施設等の建設事務事業				⑥経常的な事務事業							
事業の実施根拠 (法令・条例・関連計画等)		-											
③必須業務の有無 【選択】		無	内容 -										
④事業開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		自治会には集会所が必要ですが、集会所等の新築・改修については、その費用が多額となり、限られた予算で運営している自治会にはかなりの負担が強いられます。											
⑤事業開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		地域集会所の設置を希望する自治会についておおむね設置が図られたが、既存の集会所についてバリアフリー対応や老朽化による改修の必要性は引き続き生じています。											
事業の目的		地域の人々が集まるサロンとして、また、自治会や子供会などの活動拠点として、地域集会所の新設及び老朽化した既存施設の改修を進めます。											
事業の内容		地域集会所の新築、改修及び用地購入に要する費用の半額補助を行います。											
⑥成果	指標名	自治会館設置数											
	指標の推移	単位	23年度実績		24年度実績		25年度見込						
		件	55		55		55						
⑦対象の状況	対象名	市民											
	対象の推移	単位	23年度実績		24年度実績		25年度見込						
		件(自治会)	57		57		57						
	将来の動向	新たな自治会の設立に向けて、呼びかけや相談を行います。											
⑧【収入】			(円)		23年度決算		24年度決算		25年度予算				
	使用料・手数料				0		0		0				
	国支出金(補助率 /)				0		0		0				
	府支出金(補助率 /)				0		0		0				
	その他 ()				0		0		0				
合計				0		0		0					
⑨【支出】			(円)		23年度決算		24年度決算		25年度予算				
	人件費	正規職員	従事人数(人)		0.1		0.1		0.1				
		人件費			800,000		800,000		800,000				
	再任用・嘱託職員	従事人数(人)			0.0		0.0		0.0				
		人件費			0		0		0				
	科目 (会計・款・項・目・細目)		01	02	01	08	735	23年度決算		24年度決算		25年度予算	
	事業費(予算・決算)				19,314,000		1,274,000		1,474,000				
合計				20,114,000		2,074,000		2,274,000					
【収支】		(円)		23年度決算		24年度決算		25年度予算					
一般財源充当額				20,114,000		2,074,000		2,274,000					
対象者あたり一般財源充当額				352,877		36,386		39,895					
⑩主な事業費の詳細 (H25見込)		自治会館改修費補助(3か所) 1,359,000円											

事務事業名称(再掲)		地域集会所建設等補助		担当所属名(再掲)		総務課	
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄			
⑪ 必要性	市民ニーズや社会情勢に照らして、事業目的が事業開始時点と比べて希薄化していない			はい	-		
	市において目的や内容が類似した事業がない			はい	-		
	市が事業を実施する必要がある			はい	-		
	市が中心となり事業を実施しなくては目的が達成できない(企業や市民、市民団体など行政以外が主体では目的が達成できない)			はい	-		
	市が事業を実施しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			はい	地域活動の拠点となる集会所の整備が困難です。		
⑫ 優先性	事業の目的・内容・実施時期のいずれかに緊急性が認められる			はい	-		
	第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させる事業である			いいえ	-		
	自治体間でのサービスの内容に差がつけられたり、地域の魅力が増す事業である			はい	地域における自主的な活動が活発になることが期待できます。		
	施策として遅れており、市の弱点を補完する事業である			はい	-		
⑬ 公正公平性	わかりやすい情報発信を行っている			はい	自治会長会において、全自治会に周知を図っています。		
	適切な受益者負担を求めている			はい	-		
	多くの住民、広い地域に還元する事業である			はい	-		
⑭ 効率性	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の目的を見直している			いいえ	-		
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の対象を見直している			はい	-		
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の手法を見直している			いいえ	-		
	具体的に説明できる費用対効果がある			はい	-		
⑮ 現状の事業手法【選択】		直営	委託先、または、その他の内容	-			
⑯ 近隣市町の状況【選択】		一部の市町が実施	他市町の事例	-			
⑰ 24年度の取り組み(昨年度)		土地借り上げ費用の補助として1自治会に70,000円、施設借上げの費用として2自治会に32,000円の補助を実施しました。また、年度当初から予定していた3自治会の改修に対する補助847,000円に加え、暴風雨による1自治会の臨時の改修に対して332,000円の補助を実施しました。					
⑱ 25年度の取り組み(今年度)		土地借り上げ費用の補助として1自治会、施設借上げの費用として2自治会に補助を予定しています。また、老朽化や地域のニーズに応じて、トイレ改修・外壁補修等を行う3自治会に対して補助を行い、自治会館の維持を支援します。木造の古い自治会館の耐震化を支援するため、25年度において補助内容の見直しを検討します。					
⑲ 26年度の取り組み(来年度)		土地借り上げ・施設借上げの費用にに対する補助及び老朽化・地域ニーズに対応した改修に対する補助を昨年度と同様に実施するとともに、昭和56年5月31日以前に着工・建築された木造の自治会館の耐震診断及び耐震改修に必要な費用の補助を新設します。					
⑳ 今後の方向性【選択】		拡大	今後の取り組み	現存する木造の地域集会所について耐震化を進めます。			
21)民間委託化の可能性【選択】		無	委託候補先、または委託できない理由	-			
22)市民や団体などとの協働の可能性【選択】		無	パートナー、または協働できない理由	-			
可能性が有の場合	協働のメリットはありますか【選択】			-			
	協働のデメリットはありますか【選択】			-			
	想定される協働の方法はありますか【選択】			-			
	パートナーに求める役割は何ですか			-			
23)その他特記事項(留意事項など)		-					